

蛍光灯照明器具から出火した事例2

火災の概要

当消防組合管内において、天井に取り付けられた蛍光灯照明器具（安定器）から発煙した火災が発生しました。

（写真1）

発煙した安定器（下）



（写真2）

蛍光灯照明器具を展開し同等品（上）と比較



出火原因の調査

1 蛍光灯照明器具安定器の見分状況

- ① グロースタート式蛍光灯（グロー球が必要）である。
- ② 安定器ボックスが茶色く変色し、周囲に液の付着がある。
- ③ 製造から50年以上経過している。

2 結果

焼損した蛍光灯照明器具安定器は、安定器自体の経年劣化によるコイル状の銅線が絶縁破壊により銅線に過負荷がかかり、発熱し出火したものと考察できる。

住民の皆様へ

蛍光灯照明を長期間使用すると、器具の安定器が経年劣化し、破損や発煙、発火するおそれがあります。

※10年以上使用している蛍光灯照明器具は、販売店などに依頼して異常がないか確認してください。また、使用していて照明が明滅する、急に消える、異常な音ができるなど異常がある場合は新しい製品に交換してください。